

令和 7 年度第 1 回学校給食センター運営審議会会議録

1. 日時	令和 7 年 10 月 1 日（水） 午後 2 時 00 分から午後 2 時 50 分まで
2. 場所	周南市役所 シビック交流センター 交流室 1
3. 出席者	周南市立学校給食センター運営審議会委員 15 名
4. 事務局	教育長、教育部部長、教育部次長、学校教育課長、 学校給食課長、課長補佐、管理担当係長、副主任、 栗屋学校給食センター栄養教諭
5. 傍聴者	なし

1 開会

2 教育長あいさつ

3 議題

①会長及び副会長の選出

立候補及び推薦なしのため事務局から推薦した結果、会長は板垣明味氏、副会長は西村正広氏 が選出される。

②学校給食に係る諸物価の変動と令和 8 年度の給食費について

事務局が資料に沿って説明

○給食費の制度と現状について

食料品全般の価格高騰の影響を受け、今年度の学校給食費は、国の交付金を活用している。保護者負担を据え置いたまま、小学校 1 日当たり 300 円（25 円補填）、中学校 1 日当たり 350 円（30 円補填）の給食を提供している。（参考資料参照）

○原材料価格の動向

学校給食の主要な食材である「牛乳」「パン」「ごはん」の価格が上昇している。それに伴い「おかず」である副食の材料費を圧迫している。

○学校給食の状況

●栄養価等の検証

令和 6 年度・7 年度の 1 学期において、小学校中学年児童、及び中学校の生徒に対しては、現行の給食費の金額で概ね国の基準を満たした栄養価のある給食を提供する

ことができたが、令和 6 年度と 7 年度を比較するとカロリーの平均値がおおよそ 2%程度落ちている。

●給食費単価の検証

本年度 1 学期の献立作りは、小学校が 279. 7 円、中学校が 326. 4 円となっており、現行の給食費である小学校 275 円、中学校 320 円を超えている。

→**現行の金額で非常に厳しい状況であるため、交付金を活用し、給食材料費への補填をしている現状であり、来年度は学校給食費を見直さざるを得ない状況である。**

○学校給食費の改定単価の算定

前回の令和 6 年度の改定時と同じ基準で算定

令和 8 年度の給食費は、1 食あたりの金額を、小学校 320 円、中学校 370 円に改定することを提案したい。

○学校給食費の内訳（構成率）

令和 8 年度の改定案を反映させた帯グラフは、小学校 320 円、中学校 370 円の単価で運用することで、おかずやデザート等の副食が令和 6 年度同様の構成率 60%を確保でき、カロリーの充足やデザートやチーズ、ジャム等の提供回数を増やすことが可能となる。

○県内各市の給食材料費の状況（令和 7 年度）

質疑応答

（質問）令和 8 年度も交付金は継続されるのか。

（事務局 回答）国から具体的に提示されていないのでわかりかねる。

（質問）県内の各市町で給食材料費（＝給食費）が公費負担になっているところもあるが、追加の情報はあるか。

（事務局 回答）表は、1 食あたりの給食費つまり材料費について記載している。岩国市などの一部の市町は給食費を無償化しているが、保護者からの徴収金額とは関係なく、給食材料費は発生する。

（質問）例えば山陽小野田市と光市では、1 食あたりの給食材料費がかなり違うがなぜか。

（事務局 回答）保護者は給食材料費のみ負担し、光熱水費といった維持管理費は市で負担する。光市は、給食センターでパンを焼いているので、保護者が負担する金額を比較的安くできることが要因の一つとして考えられる。それぞれの市町によって事情があるので、給食材料費は違う。

（質問）資料 4 の県内各地の給食材料費の状況について、令和 8 年度の各市町の動向は調査されているか。

(事務局 回答) 物価高騰なので、現在の給食費に上乘せされていく傾向ではないか。

(委員からの意見)

(学校長から)

- ・栄養士から現場の苦労を聞いている。学校現場からの立場だと、子どもたちが楽しみにしている、あたたかくておいしい給食を提供し続けられる価格に応じたものになればと考えている。
- ・給食の材料費を臨時交付金で補填しているのは大変ありがたいと思っている。校長としては、適正な価格の食材を仕入れることができ、県内産の食材を使い、安全安心な給食を提供していただけるのは、良いことだと思う。
- ・交付金が充てられて1食300円の予算で給食の献立を考えることができるのは大変ありがたいと栄養教諭と話している。物価が値上がりしている中、現在の給食費で、子どもたちが楽しみにしている給食の献立を維持することは難しいということは明白だと思う。維持するために必要相当分の値上げについては致し方ないかなと思う。
- ・給食費の値上げに関するエビデンスがしっかりしている。給食費が、小学校が320円、中学校370円ということは、理解していただける数字・金額ではないかと思う。
- ・巷では10月1日からおよそ3000品目の食品が大幅に値上げするタイミングでもあるので、(給食費の増額改定について)保護者のご理解は十分に得られるのではないかなと思う。
- ・物価高騰の中、皆さんの苦労と工夫があっておいしい給食を食べることができて感謝している。給食費の値上げは仕方がないのかなと思う。学校としては、給食に対する感謝の気持ちを子どもたちに伝えていかなければと思っている。

(保護者から)

- ・給食の質が維持されることは大切である。給食費の値上げは仕方ない部分はあるが、月810円・850円の値上げは厳しい。できる限り給食費を上げてほしくないし、もう少し抑えられないかとも思う。値上がり分が反映された給食を提供してほしい。
- ・値上がりは避けたいが、子どもたちの栄養を満たす給食になるのであればよいと思う。
- ・子どもたちの栄養を考えていただき、心の安定にもつながる給食を提供してほしい。
- ・子どもたちが楽しみにしている給食をつくっていただいて感謝している。ただ、給食費は、最初は月5,000円未満で、令和6年度に5,440円になって、来年度からは6,000円オーバーになる。子どもたちは給食を楽しみにしているし、物価高騰で仕方がないと思っている。
- ・交付金が活用されていることを保護者がどの程度知っているのかが疑問。今年度の給食費は補助があるから保護者負担は変わらないが、来年度からは保護者負担が増える。保護者としては、今回の補助のことを知らないと、給食費が1年おいて来年一気に上がったと思うので、負担が大きいと感じる。子どもたちが学校で給食を食べられていることもありがたいことだと思っているので、公費負担の情報提供をしっかりとしていけば「また値上がりしても仕方ない」と落ち着くような気も少しする。

(その他委員から)

- ・おいしい給食はありがたいと思っている一方で、保護者の立場からすると給食費の値上げは負担が大きくなるので困るのかなと思う。ただ、給食センターに立ち入りして現場の方から苦労されている話を聞いているし、給食費検証についての説明があるように給食費の値上がりは仕方ないのかなとも思う。
- ・値上げには賛成。現在の給食が、公費負担をして1食300円と350円で運営していることを市民の方にアピールしたら給食費の値上げも理解してもらえるのではないかなと思う。

(事務局) 交付金の周知については、本市ホームページに掲載しているだけでなく、10月分の献立表から「臨時交付金を活用して、小学校は300円、中学校は350円で給食を提供しています」というような文言を記載している。また、各給食センター協議会などの必要な場面で周知をしていきたい。

(会長) 議題②の学校給食に係る諸物価の変動と令和8年度の給食費について、令和8年度の給食費は、事務局案のとおり、「増額改定を」行うということによろしいか。

(異議なし)

議題②については事務局案のとおり決定

4 その他

- ・学校給食での台湾米の使用

県教育委員会を通じて台湾の活動団体様から学校給食用に台湾米の寄付があったため10月から使用させていただくことになった。使用日は献立表に記載。

- ・報酬の支払いについて

5 閉会